

差出人: 石塚高広

所属: みんな天才化機構

題名: HGM_CORE1-09 脳の回転が遅くなるもの アウトプット

メッセージ本文:

Q: 陣羽織とはどんなものか?

日本の武士が戦場で着る羽織。位の高い武士が着けていた。

Q: 日本に山猫はいるのか?

という質問に関しては素直に居る。イリオモテヤマネコ! または山や野に住む野生化した家畜用の猫。

但し、この話に出てくる山猫は動物の意味ではない。

どنگりと山猫はたたら製鉄の場面を模している。

逆からの説明だが

どنگりとたちがバチバチと言い争いをはじめて3日間。

たたらは3日3番火を焚き付け続ける。

どنگりはたたらの火を模している。

また、別当はたたらの最高技術責任者である村下や番子の比喻だ。

目が悪い、足が悪いはたたら製鉄の職業病である。

村下は3日3番たたらの火を見続け、火の色だけで砂鉄の状態を悟らなければならぬので目がやられる。

番子はふいごを踏むのが仕事。これも同じく片足でずっと踏んでいるのでだんだんと片足が悪くなってくる。

鞭を使ってどنگり(火)を操っているし、

それに別当は馬の飼育係の意味であり、陰陽五行でいうと馬は金だ。

金は砂鉄、火との相性がいい

そして最後にたたら侍が山猫だと推測する。

猫は大昔に備蓄をネズミから守るために海外から連れてきた。

備蓄=鉄とするればそれを守るたたら侍=山猫だ。

侍となれば戦の時に陣羽織を着る位の高い者もいる。

もののけ姫のエボシ様も陣羽織を羽織っている。
陣羽織は一般的に派手なイメージだが、エボシ様は違うけど…
子供でも陣羽織のイメージができるだろう。

Q:一郎少年は何歳くらいの歳だろうか？
小学校5年生…文章から推測しただけ
もっと読み解きが必要…

Q:作者の宮沢賢治はどのような人物なのか？
童話作家、代表作は「注文の多い料理店」、「銀河鉄道の夜」、「風の又三郎」などがあるが私は「注文の多い料理店」が印象に残っている。
優しく真面目な性格と言われている。
1896年 岩手県花巻市生まれ
昔から製鉄業が盛んで橋野鉄鋼山があり洋式高炉を建設の地でもある。
宮沢賢治が子供のころから製鉄に触れていたとしてもおかしくはない。

物語の最後に裁判の出廷依頼は2度と来なかったとあるが明治時代になって官営の金石製鉄所が国内初の製鉄所として操業している。
たたら製鉄がすたれる最後の灯を描いていたのかもしれない。

--

CORE1-09 脳の回転が遅くなるもの から送信されました。
<https://allgeniuses.org/core1-1/09/>